



学校便り 「志々伎の風」

No.1 1

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成29年 9月 5日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【新学期スタート】

35名の笑顔が学校に戻ってきました。子どもたちの元気な姿は、保護者・地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。

始業式では、今年度の合言葉「一人はみんなのために、みんなは一人のために」について話をしました。

1学期での成長は、集団としてのまとまりがあったからです。6年生のリーダーシップ、それに付いていった1～5年生。相手を思いやる心がまとまりにつながり、全校朝会や集会での意欲的な感想発表にもつながりました。

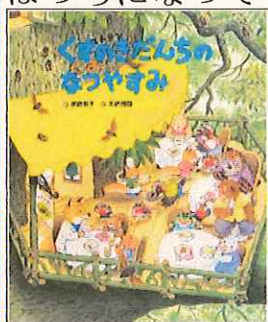


8月21日の登校日での縦割り班対抗校内オリエンテーションでの和気あいあいとした雰囲気にも、まとまりのよさが出ていました。

2学期も1学期のように、個の力とチームの力を共に高めて、子どもたちを成長させていきます。引き続き、保護者・地域の皆様のご協力をお願いします。

【親子で読書・みんなで読書】

夏休みでくすのきだんちの住人たちは、旅行などでみんなお出かけです。管理人のもぐらのもぐはひとりぼっちになってしまいました。そこ



に、留守の家からものを盗むルスアの色に合わせたので黒になラシがやってきて、管理人のもぐは大弱り。でも一人ではありませんでした。

【トノサマバッタフラック?】

5年生の〇〇〇〇さんが、船越地区で黒いトノサマバッタを捕まえ、学校に持ってきてくれました。



4年生の子に育った場所の色に合わせたので黒になったと説明をしていると、そばにいた子が「環境によってそうなるんですね。」とすばらしい言葉を発しました。

バッタの生きる力を学習するよい機会になっています。〇〇さんありがとう。

【ありがとうございました。】

8月24日に、PTA 奉仕作業が行われました。21日が雨天のため急きよ24日になりましたが、保護者の方や子どもたち・教職員、合わせて約80名もの参加がありました。おかげで、すっきりとした運動場になり気持ちよく新学期を迎えることができました。暑い中、また、ご多用な中に奉仕作業をされる保護者の方の姿を見て、子どもたちは、自分たちの学校生活が支えられていることに気づきます。そして、感謝の心や自分たちは大切にされているという心が育まれます。ありがとうございました。